

議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23番地



令和5年6月の水害（久慈集落の災害視察状況）

令和5年6月の水害に おもつこと

6月1日からの過去最高を更新するほどの雨量により、瀬戸内町内では、床上・床下浸水被害等に見舞われた。農地では、久慈集落内がかつてないほどの被害をうけ、農家の落胆は隠せないほどである。

鹿児島県選出の国会議員も、現地を視察した。

何かしらの現段階での補助施策を考えていただけるよう望む。

議会としても、町当局に支援策について訴えていきたい。

人的被害が無くて何よりだったが、この時のことを踏まえ全ての町民が参加する日頃の訓練が大事になり、災害発生時には、訓練のように、訓練時には災害発生時のように動いたら被害が最小限になると思う。

こんなことを決めました！

第1回臨時会

5月25日

第1回（5月）臨時会では、補正予算議案2件、条例議案2件、その他議案6件の計10件の議案を審議し、それぞれ可決しました。主な議案の要旨は次のとおりです。

補正予算

●令和4年度一般会計補正予算
(第10号)

主な要因は、歳出について、総務費の総務管理費に1千万円を追加した事。歳入について、寄付金に1千万円を追加したことによるものです。

●令和5年度一般会計補正予算
(第1号) 総務費に1千1百13万円を追加したこと。民生費に1千79万6千円を追加したこと。衛生費に1千7百16万7千円を追加したこと。農林水産業費に5百万円を追加したこと。歳入について、国庫支出金に2千8百22万3千円を追加したこと。繰入金の基金繰入金に5百87万円を追加したことによるものです。

条例の一部改正

●瀬戸内町税条例の一部改正

軽自動車税の環境性能割の税率区分を12月まで据え置くこと。グリーン化特例については、適用期限を3年延長するものです。

令和5年第1回瀬戸内町議会臨時会（5月25日）議案・議決結果

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		泰山祐一	福田鶴代	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	中村義隆	岡田弘通	安和弘	
36	令和4年度瀬戸内町一般会計補正予算(第10号)の専決処分事項の承認について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
37	令和5年度瀬戸内町一般会計補正予算(第1号)の専決処分事項の承認について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
38	瀬戸内町税条例の一部を改正する専決処分事項の承認について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
39	瀬戸内町国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分事項の承認について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
40	西古見観光拠点施設整備事業(建築)請負契約の締結について	×	×	○	○	○	○	—	○	○	×	可決
41	西古見観光拠点施設整備事業(機械設備)請負契約の締結について	×	×	○	○	○	○	—	○	○	×	可決
42	加計呂麻港(俵地区)改修工事(R4線)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
43	加計呂麻港改修(統合補助)工事(瀬武地区)(R4線)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
44	令和4年度(繰越)防災行政無線戸別受信機整備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
45	阿木名小学校教職員住宅新築工事(建築)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決

賛成 ○ 反対 × 欠席 △ 議長は採決に加わりません —

第2回定例会

6月27日～29日

第2回（6月）定例会では、補正予算議案5件、条例議案3件、その他議案11件の計19件の議案を審議し、それぞれ可決しました。主な議案の要旨は次のとおりです。

補正予算

●令和5年度一般会計補正予算（第2号）

主な要因は、総務費に7千4万4千円、土木費に1億6千9百34万8千円をついかしたることによるものです。

●令和5年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第1号）

「特定ふるさとおこし推進事業費」として3百35万9千円を追加したこと。

条例の一部改正

●職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

令和5年5月8日付、人事院規則9-129（東日本大震災及び東日本大震災以外の特定大規模災害等並びに新型コロナウイルス感染症及び特定インフルエンザ等に対処するための人事院規則9-130

改正に伴い、国家公務員に準じ同様の措置を講じるため、所要の改正を行うものです。

主な改正点は、新型コロナウイルス感染症の患者若しくはその疑いがある者に接して行う作業又はこれに準ずる作業に従事した者への作業手当を廃止するものです。

条例の制定等

●瀬戸内町文化財保護基金条例の制定

本条例は、これまで、町民の財産である、国や県を含む町内の文化財等を保護するための財源がなく、緊急時などの対応については、補正予算など一般会計による財源に頼らざるを得ない状況でした。つきましては、広く町の文化財を保護する浄財等を受け入れるため、条例を制定するものです。

請負契約の締結について

●令和5年度清水体育館大規模改修工事（建築）請負契約の締結

令和5年6月21日に、奄美興発株式会社、株式会社勇建設、株式会社伊東組、丸福建設株式会社、株式会社泰江組、株式会社里山興業の6業者で指名競争入札を行い、奄美興発株式会社が一金1億3千3百65万円で落札し、6月21日に仮契約を締結したことによるもの。

農業委員会委員の任命の同意

現在の農業委員会委員の任期が令和5年7月19日をもって満了を迎え、新たに農業委員会委員を任命するため、農業委員会等に関する法律第8条第1項（平成28年4月1日施行）の規定により議会の同意を得るもので新たに10名の方が同意を得ました。

令和5年第2回瀬戸内町議会定例会（6月7日～6月9日）議案・議決結果

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		泰山祐一	福田鶴代	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	中村義隆	岡田弘通	安和弘	
陳情5	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	採 択
46	令和5年度瀬戸内町一般会計補正予算（第2号）について	×	○	○	○	○	○	—	△	○	×	原案可決
47	令和5年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
48	令和5年度瀬戸内町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
49	令和5年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
50	令和5年度瀬戸内町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
51	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
52	瀬戸内町文化財保護基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
53	瀬戸内町企業版ふるさと納税基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
同意1	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意2	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意3	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意4	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意5	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意6	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意7	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意8	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意9	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
同意10	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	同意
54	令和5年度清水体育館大規模改修工事（建築）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決
発議3	森林環境譲与税の基準の見直しを求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	—	△	○	○	原案可決

賛成 ○ 反対 × 欠席 △ 議長は採決に加わりません —

一般質問

私はここが聞きたい！
町政を問う

6人の議員が一般質問

定例会第2日目、3日目に一般質問が行われ、

6人の議員が町政について質問しました。

通告順（発言順）に掲載します。

6 p	泰山 祐一 議員 ●汚水処理問題について ●人口対策について ●子ども預かりについて
7 p	柳谷 昌臣 議員 ●子育て環境の充実について ●集落支援について ●行政サービス・職員の資質について
8 p	永井 しずの 議員 ●市街地の公園の環境整備について ●出生率を上げる環境づくりについて ●役場職員の資質向上について 他
9 p	岡田 弘通 議員 ●3期目のせとうち創生マニフェストについて
10 p	安 和弘 議員 ●町政について
11 p	福田 鶴代 議員 ●子育て環境の充実について ●加計呂麻ターミナル事業について ●男女共同参画について 他

一般質問とは

一般質問とは、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

また、質問に対する答弁書が作成され一般質問の後、それぞれの議員へ配布されます。

質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

ただし、一般質問に対する関連質問は、許可されていません。

汚水処理

泰山議員 — 汚水処理人口普及率対策について

町長 — コミュニティプラント、公共浄化槽等整備事業を展開

汚水処理問題について

泰山 直近の瀬戸内町の汚水処理人口普及率について伺います。

町長 令和5年3月31日時点の汚水処理人口普及率は、45・48%です。

泰山 汚水処理人口普及率が低いことにより、河川や海などへどのような影響が及んでいる可能性があるのか伺います。

町長 人口が集中している市街地においては、合併処理浄化槽による生活排水処理対策が十分に行われておらず、未処理の生活雑排水により排水路や河川の水質汚濁が生じており、その流出先となる海域にも影響を与えている状況です。

泰山 汚水処理人口普及率を加速化させる対策について伺います。



泰山 祐一 議員

町長 市街地については「瀬戸内町生活排水処理基本計画」に基づき、コミュニティプラント、公共浄化槽等整備事業を展開していきます。

泰山 鹿児島県内で瀬戸内町は何番目の汚水処理人口普及率になるのか。

町長 市街地については「瀬戸内町生活排水処理基本計画」に基づき、コミュニティプラント、公共浄化槽等整備事業を展開していきます。

泰山 鹿児島県内で瀬戸内町は何番目の汚水処理人口普及率になるのか。

人口対策について

泰山 鹿児島県大崎町で実施している「民間賃貸及び立地企業の従

業員宿舍を建設する方への補助制度」を参考に新たな不動産投資を促進する補助制度を新設するご意向があるのか伺います。

町長 移住者のための新たな不動産投資を促進する補助制度の新設については、先進地の事例を調査及び研究の上、制度設計を検討してまいりたいと思っております。

子ども預かりについて

泰山 瀬戸内町が抱える子ども預かりに関する主な課題と対策について伺います。

町長 保護者が働きながら子育てするための支援施設として、放課後児童クラブや一時預かり施設がござい

ます。泰山 幼児と介護施設を複合させる施設「幼

受け入れられる体制があるのであれば、そこも考えていって、この問題に対するの解決策としていったらいいのかなと考えております。

中でも放課後児童クラブは利用希望者が多く、待機児童が発生しています。共働き世帯が増えた事などが主な要因だと考えられますが、受け入れ体制や、受け入れスペースの問題も考えられます。

老複合施設」というのを介護の施設で預かっていただくことによっ

泰山 今のお話を受けてですが、事業者さんの難しい課題もあると思いますけれども、そういうところも含めて瀬戸内町としてこの担い手不足の中で、複

これから子どもの人数の推移も考慮しながら、運営事業所や関係機関と協議を重ね、待機児童の解消に努めてまいります。

泰山 新たな取り組みとして、奄美市や龍郷町で取り組んでおりますファミリー・サポート・センターの取り組みを瀬戸内町でも準備

泰山 今のお話を受けてですが、事業者さんの難しい課題もあると思いますけれども、そういうところも含めて瀬戸内町としてこの担い手不足の中で、複

泰山 新たな取り組みとして、奄美市や龍郷町で取り組んでおりますファミリー・サポート・センターの取り組みを瀬戸内町でも準備

泰山 新たな取り組みとして、奄美市や龍郷町で取り組んでおりますファミリー・サポート・センターの取り組みを瀬戸内町でも準備

泰山 新たな取り組みとして、奄美市や龍郷町で取り組んでおりますファミリー・サポート・センターの取り組みを瀬戸内町でも準備

泰山 瀬戸内町が抱える子ども預かりに関する主な課題と対策について伺います。

泰山 瀬戸内町が抱える子ども預かりに関する主な課題と対策について伺います。

泰山 瀬戸内町が抱える子ども預かりに関する主な課題と対策について伺います。

集落支援

柳谷議員 — コミュニティ職員の役割

町長 — 各集落の課題や解決に関する助言、情報の提供

子育て環境の充実

柳谷 ことも家庭庁創設に伴う本町の体制作りについて伺います。

町長 国のことも家庭庁創設に伴う本町の体制作りについてですが、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を一体化した「子ども家庭センター」の開設を目指しています。

しかしながら、専門職の確保、人員の確保、設置場所の確保等、難しい問題もあり、十分に準備してからの推進となります。

次に保護者が働きながら子育てするための支援施設として、放課後児童クラブや一時預かり施設がございます。

中でも放課後児童クラブは利用希望者が多

く、待機児童が発生しています。

共働き世帯が増えた事などが主な要因と考えられますが、受け入れ体制や、受け入れスペースの問題も考えられます。

これからの子どもの人数の推移も考慮しながら、運営事業所や関係機関と協議を重ね、待機児童の解消に努めてまいります。

教育長 放課後子ども教室を、古仁屋教室・阿木名教室・嘉鉄教室・諸鈍教室の4教室を開校しておりますが、どの教室も支援員不足が課題となっております。町広報紙での募集

や、各教室の支援員やコーディネーターによる募集(声掛け)を行っておりますが、十分な支援員の確保までには至っておりません。

次に開校日数であります。平日の週5日開校が古仁屋教室・阿木名教室・諸鈍教室で、週2日開校が嘉鉄教室となっております。

夏季休暇中の開校日数は、週5日開校が阿木名教室、週2日開校が古仁屋教室と諸鈍教室で、嘉鉄教室は開校していません。

また、冬休みや春休みにおきましては、どの教室も開校していません。

集落支援について

今後も効果的な募集方法を模索するとともに、支援員の確保に努めてまいります。

柳谷 コミュニティ職員の各集落に対する役割を伺います。

町長 地区コミュニティ職員の役割としては、各担当集落の課題や解決に関する助言、運営、またはその活動に必要な情報の提供を行うこととあります。

地区コミュニティ職員には、定期的に集落の囑託員と連絡を取り合い、集落の状況及び課題を把握するよう指示しております。

柳谷 今後、いろんな事案が各集落単体では出来なくなってくると予想されます。近隣集落同士の協力体制作りが重要になると思いますが、どうお考えか伺

います。

町長 近隣集落同士の協力体制作りにつきましては、人口減少及び高齢化により集落活動の維持が困難となっている集落もある現状を踏まえ、

「共助」として重要になってくると考えております。

町としても、「公助」として集落維持のためには、何が必要なのか。何が有効なのかについて、議会や住民の声に耳を傾け、調査研究し、限られた財源及び人員の中で何ができるかについて検討していく必要があると感じております。

柳谷 総合案内コーナーを町民生活課に設置出来ないのか伺います。

町長 町民生活課への

総合案内コーナー設置につきましては、需要がどれくらいあるかも踏まえて検討すべきものだと考えております。

現在、窓口アンケートや「住民の声」等において、その様な意見や要望等はございますが、これは、職員の資質向上によるものだと考えております。

特に1階の職員の接遇能力は向上していると感じており、迷っている住民等へ積極的に話しかけ、場合によっては担当課まで案内している姿を見かけることがあります。

しかしながら、今後、総合案内を要望する様な意見が多く出てくる場合は、その原因を突き止め、解決策を検討したいと考えております。

柳谷 総合案内コーナーを町民生活課に設置出来ないのか伺います。

町長 町民生活課への

人 永井議員 — 役場職員の資質向上について

事 町長 — 働きやすさと生産性の向上を目指していく

市街地の公園の環境整備について

永井 市街地の公園でトイレが無い所があるが、今後の計画を伺いたい。

町長 現在市街地には、公園が11カ所整備されており、その中で森山公園、宮前公園、キリン公園、カメ公園、コーラルタウン船津団地公園、高丘団地公園にはトイレが設置されていない。
住宅の入居者等が利用する身近な公園、又は小規模な公園には設置していない。
今後利用者のニーズ等必要性を十分勘案して検討していく。
永井 カメ公園は休日など車が多く停まっています、子供達も沢山遊んでいるので是非、前向きに検討していただきたい。

出生率を上げる環境づくりについて

永井 町として出生率を上げるための施策を伺いたい。

町長 保健福祉課関係では、子育て世代包括支援センターにおいて不妊治療費等の助成、妊婦検診に係る交通費・妊婦歯科検診に係る助成及び、国の施策に基づいた出産子育て応援給付金の助成を行っている。
また、令和5年度から特定不妊治療を受けられた方への治療費に対する助成金の上限を10万円から20万円に引き上げている。



永井 しずの 議員

更に令和5年度から、へき地診療所における妊婦検診の再開を実施している。

町民生活課関係では、子育て支援策として、認可保育所等の使用料無償化、地域型保育所や放課後児童クラブ等への補助、子供医療費・ひとり親医療費の助成、児童手当・出産祝い金・小学校入学祝い金・古仁屋高校入学祝金等の支給を行っている。
永井 妊娠前から子育て期に至る切れ目のない子育て支援を実施しているが、原点であるカップルを増やす事が大事で、役場主催で出

役場職員の資質向上について

永井 行政の根幹である役場職員の働く環境づくりの施策を伺いたい。

町長 働き方改革の推進による職員のモチベーション向上、職員のスキルアップの為に研修の充実による職員の能力向上と成長を支援、職場内のコミュニケーションを活発化させる為の施策として、人事評価制度の面談研修及びメンター制度導入、更に業務プロセスの見直しとDX推進による業務の効率化等により、役場職員の働く

環境を改善し、職員の働きやすさと生産性の向上を目指していく。
地域の状況を理解していただけるように努めている。

永井 上司は部下の変化に気付くのも大事で悩んでいそうな時は声掛けをして欲しい。
又、窓口に来られる高齢者には、難しい単語は使わず、わかりやすく丁寧に説明して欲しい。

又、留学を継続して希望される方には、毎年「留学継続申請書」を提出していただく事で、留学後の状況を把握するとともに、制度の趣旨を再確認していただけるよう、努めている。

にほんの里・加計呂麻留学について

永井 募集条件は保護者などによく理解されていると思うか伺いたい。
教育長 町ホームページ上で募集条件や助成制度、実施要綱について掲載しているが、留学希望者には学校への体験留学を勧めたり、学校存続委員会とも連携し、区長や学校長を交えた面談を行うなど、制度の趣旨や学校

永井 最初は良くても少し慣れてくると集落とすれ違いが生じコミュニケーションが上手に取れなかったりするので年に2〜3回役場が間に入り、意見交換の場を設け、条件などの再確認をしていただきたい。

子育て支援

岡田議員 — 子育て支援の充実について

町長 — 次期計画へ向けて計画的に実施していきます

3期目のせとうち創生マニフェストについて

岡田 子育て支援の充実について、子育て会議の活動状況について伺います。

町長 実施状況ですが、コロナの影響等もあり、この3年間は開催していません。今後、高丘保育所の建替えの件や、次期「子ども・子育て支援計画」策定へ向けての事前準備がありますので計画的に実施していきます。

岡田 農林水産業（一次産業）の振興対策について伺います。

町長 ①まず、果樹の生産振興については、主軸である「たんかん」と年内出荷が可能な有望中晩柑である「津之輝」の栽培が増加傾向にあり、果樹経営における労力分散と収益の確保が図られているところですが、パッションフルーツについては、

品質の高さと生産者の地道な努力が評価され、平成31年4月に「かごしまブランド団体」として認定を受けるなど、鹿児島県を代表する品目として評価されています。今後も、営農支援センターを活用した新規就農者の育成と就農後における営農用ハウス等の整備を一体的に推進します。マンゴーにおいては、栽培面積、生産量ともに増加傾向にあり「奄美マンゴー」や「かけろまマンゴー」として贈答用の人気が高い品目ですが、一方で生産技術の格差や気象条件等に加え、収穫期に襲来

する台風の影響による出荷停止などの不安要素が多い側面があります。今後の対策としては、増加傾向にある新規就農者や担い手に対し、地域おこし協力隊員や関係機関と連携を図り、栽培管理の技術指導や経営能力の向上、各種補助事業を活用した作業の省力化、経営面積の拡大を支援し、「稼げる果樹経営体」の育成に努めます。

②畜産については、近年の世界情勢や円安等を背景とした穀物や燃料価格の高騰、海上運賃の上昇等により肥料飼料等の生産資材価格の高騰が続き、畜産経

営への長期的な影響が憂慮されている中、子牛価格が下落して経営が厳しい状況にあります。今後は、飼料生産基盤の強化と購入飼料を抑えるため、自給飼料の確保・増産が出来る体制づくりの支援を引き続き推進していきます。

③水産業については、水産資源減少の要因の一つである藻場が大島海峡内で減少している状況で、漁業従事者や漁協と連携を図り、仕切り網や囲い網等を設置して藻場造成活動を推進し、10年後・20年後を見据えて、水産資源の保全・回復に努めます。人材育成・後継者確保については、漁師育成推進事業や新規就業者特別対策事業等を活用して支援していきます。

④林業については、輸送コスト支援事業を活用し、鹿児島本土へバイオマス発電の燃料材として

の出荷支援を行っています。また、特用林産物については、キノコ等の生産支援として、令和3年度より栽培ハウス等の生産基盤整備支援、令和4年度よりシイタケ原木購入に対する補助を行っており、今後も継続支援を行います。

⑤Uターン者就労支援の現状は、49歳以下、すべての新規就農者を対象とする支援事業として、新規就農者育成総合対策事業。国の100%の補助事業を活用し、支援しています。今後については、今年度より瀬戸内町ふるさとUターン者就業支援資金制度を創設しました。50歳以上65歳未満のUターンを希望する中高年層の就業意欲の喚起と就業後の宮農定着を図るため、就農へ向けた準備段階としての支援制度であり、農業の担い手の確保と定住人口の

増加が目的です。

岡田 西古見観光拠点施設の管理運営及び集落への支援対策について伺います。

町長 西古見観光拠点施設の管理運営については、令和6年度は、町で全体的な管理運営を行い、各施設の清掃や周辺の伐採及びお客様対応等の業務については、集落への委託を考えています。今後は、関係団体及び集落と協議し、適切な管理運営委託が行えるよう検討してまいります。管理運営に向けては、今年度より瀬戸内町ふるさとUターン者就業支援資金制度を創設しました。50歳以上65歳未満のUターンを希望する中高年層の就業意欲の喚起と就業後の宮農定着を図るため、就農へ向けた準備段階としての支援制度であり、農業の担い手の確保と定住人口の



岡田 弘通 議員

飲料水

安議員 — 安心安全な飲料水の供給について

町長 — 毎日検査を実施し水質異常の早期検知に努めている

町政について

(一) 安心安全な飲料水の供給について

安 先月5月20日、21

日、議会活動の一環として町民と語る会をもちました。当然のこと

ながら、「町民の本音」というものが聞こえて

きます。

その中で、古志集落

に於いて

「飲料水の劣悪さ」。

とてもそのまま飲む

に耐えられないなどの

ことがありました。

この事を町は知っている

のか、何とかならない

ものか……。

の訴えが複数の方から

長時間に渡ってありま

した。

水は人の命に関わる

大切なもの。

語る会に出席してい

た者の一人として伺い

ます。

町はこのことを把握

していたのか、どうか。

町長 各浄水施設から

排水される水道水につ

きましては、法定水質

検査であります毎日検

査を業務委託し実施し

ており、水質異常の早

期検知に努めていると

ころであります。

古志集落の水質問題

に関しましては、毎日

検査による水質異常等

の連絡は無く、その他

法定水質検査に於いて

も異常値が確認されて

いないため把握してい

ないのが現状でありま

す。

今後、集落にて、現

地確認を行い、現状把

握に努めたいと思いま

す。

安 町民と語る会の度

に、当然のことながら

町民の声というものが

聞こえてきます。

執行部側、すなわち

町と我々議会とはそれ

ぞれの立場での役割と

いうものがあり、町民

の要望、時には苦言に

対し、「はい、分かり

ました。必ずやりま

す」などと私共の口か

ら言えるものではありません。

「皆さんの声は、必ず町に届けます。

答えは持ってきます。」

とは言えます。それが

我々議員の仕事だと心

得ます。ことさらに命

に関わる水に対しては、

語る会で毎回の様に熱

う。

大事なことは、

「町民の命にかかわる

こと」

「今すぐ、やらねばな

らぬこと」

「時間はかかるけど必

ずやること」

又、

「今はできないこと」

そういうことをメリハ

リをつけて必ず町民に

報告する。

そういう町の姿勢を希

望して質問を終わら

す。



安 和弘 議員



篠川浄水場



篠川水源

支所機能

福田議員 — 加計呂麻島ターミナルの支所機能について

町長 — 職員常駐ではなく民間委託を検討している

子育て環境の充実

福田「子育て包括支援センター」業務について、伺います。

町長 妊娠・出産・子育て期の方々が健やかで安心した生活が送れるように、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行っております。内容としては、妊娠前では、不妊治療費等の助成、妊娠期では、母子手帳の交付及び面談、妊婦検診、妊婦検診に係る交通費、妊婦歯科検診の助成、出産直後では、新生児聴覚検査・先天性代謝異常検査産婦健診の助成、新生児訪問、産後ケアの実施。子育て期では、乳幼児健診、歯科検診の実施、定期予防接種の問診発行、各種教室（「ママのほっとサロン」）「ほっかぼっかくらぶ」「ベビーマッサージ」わくわくキッズ」の実施。保健師、

助産師、管理栄養士による相談や訪問を行っている。

福田 町民生活課児童母子係の業務について、お尋ねします。

町長 子育て支援交付金全般に関する、保育所入所に関する、放課後児童クラブ、一時預かり、母子寡婦福祉会に関する、出産及び入学祝金に関する、ひとり親家庭医療費に関する、児童手当に関する、児童扶養手当に関する、要保護児童に関する、へき地保育所に関すること等があります。

加計呂麻ターミナル事業について

福田 加計呂麻ターミナル事業の進捗状況についてお尋ねします。

町長 ターミナル周辺の駐車場整備を完了後、令和5年9月にターミナル本体工事に着手する予定としており、令和6年の夏のころの施設完成を見込んでいます。また、ターミナルの運用開始後、現在の待合所の解体工事等を行い駐車場として利用する計画としています。

福田 加計呂麻ターミナルの中に加計呂麻支所を作り、役場職員も支所に常駐させるのか

又鎮西地区にも支所を設ける意向があるのかお尋ねします。

町長 ターミナルビルに支所機能として、各種証明書が発行できる方向で進めておりますが、定員管理計画も踏まえ、職員常駐ではなく、民間委託を検討しているところであり、鎮西地区への支所を設ける意向は現時点ではございませんが、住民の需要があれば、今後、DX推進による住民サービス向上の中で、証明書手続きや役場への相談についても遠隔対応を含め、検討してまいります。

男女共同参画について

福田 瀬戸内町が目指す男女共同参画についてお尋ねします。

町長 本町においては、平成25年に「瀬戸内町男女共同参画基本計画」を策定し男女が

せとなみの新造船検討について

福田 せとなみの新造船検討にアンケートや島民説明会などで主に町民からどのような要望があったのか、その要望に対してどのような対応をされる予定なのかお尋ねします。

町長 島民説明会での要望では、しげに強くて揺れない船を希望される島民の意見が多くありました。この要望を踏まえ（6月13日）第1回せとなみ新造船建造協議会を開催し船の構造・内装（バリアフリー）等の協議を致しました。また、3集落の区長から車両の積載能力の向上等の意見が出されましたので法令を重視しながら、可能な限り修正を行い第2回せとなみ新造船建造協議会に諮り承認を得たいと考えております。

福原副町長を選任



主な経歴
 昭和60年 4月瀬戸内町役場入庁
 平成29年 1月瀬戸内町役場水産振興課長
 平成31年 1月瀬戸内町役場総務課長
 令和5年 3月瀬戸内町役場定年退職
 令和5年 7月13日瀬戸内町副町長就任

これまでの永年の町職員としての経験を活かしながら補佐役として鎌田町長を全力で支えると共に職員と一丸となって町民の皆様に「この町に住んでよかった」と思えるまちづくりの実現に誠心誠意努める所存でございます。

奥田副町長が退任

平成27年7月12日から2期8年間、
 鎌田町政の舵取り役として尽力されました。
 大変なご苦勞もあったかと思ひます。
 長い役場人生 お疲れ様でした！



編集後記

目標としていたのの当初は「一日一善」だった。一日に何か一つ善い事をしたものだと思えた。そのうちに一日に一つでは物足りないと思うようになった。それならば一日十善を目標にしようと考えた。世の為、人の為になることを考えるのは中々に面白い。ボランティアをしている人達は皆そう思っている事だろう。例えば道に落ちていたゴミを拾うとか、海岸の清掃をするとか、道端の雑草を取ってあげるとか、ゴミ収集の後片付けをするとか、あいさつを元気良くするとか、困っている人に声をかけるとか、善い事というのは考えてみるといくらでもありそうである。みんなが心がければ日本は住みやすい美しい国となることだろう。

一日の終わりにその日してきた善い事を書き出してみるのがいい。それが十以上になればしめたもの。世の為、人の為に役立っているというものだ。花を育てて通りかかりの人に楽しんでもらおうのもいい。公共の場の清掃に精出すのもいい。ヤル気さえあればいいことだらけではないか。まずは一日一善から始めてみませんか。

議会報編集委員会

委員長 元井 直志
 副委員長 泰山 祐一
 委員 福田 鶴代
 委員 柳谷 昌臣
 委員 池田 啓一
 委員 向野 忍
 委員長 順一